



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東
コード番号 1605 URL <https://www.inpex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 脇田 嘉博 (TEL) 03-5572-0233
ジェネラルマネージャー
四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,698,743	100.0	915,892	127.6	1,027,661	140.5	267,429	94.2
2021年12月期第3四半期	849,214	43.3	402,376	110.3	427,269	114.7	137,722	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 964,243百万円 (190.3%) 2021年12月期第3四半期 332,138百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	193.66	—
2021年12月期第3四半期	94.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	6,840,511	4,190,518	57.7
2021年12月期	5,158,196	3,346,409	60.6

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 3,947,818百万円 2021年12月期 3,124,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	20.00	—	28.00	48.00
2022年12月期	—	30.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種株式（非上場）に係る配当の状況については、別紙の「甲種株式の配当の状況」をご参照ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,302,000	85.0	1,241,000	110.1	1,370,000	108.3	400,000	79.3	292.58

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）1株当たり当期純利益の計算には、2022年8月8日開催の取締役会において決議した自己株式取得の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料8・9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）及び（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	1,386,667,167株	2021年12月期	1,462,323,600株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	37,619,463株	2021年12月期	75,805,993株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	1,380,953,337株	2021年12月期3Q	1,460,206,019株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式（2022年12月期3Q 910,363株、2021年12月期 149,593株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	8,000.00	—	11,200.00	19,200.00
2022年12月期	—	12,000.00	—		
2022年12月期 (予想)				12,000.00	24,000.00

(注) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 参考情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、原油及び天然ガスの販売価格の上昇により、売上高は前年同期比8,495億円、100.0%増の1兆6,987億円となりました。このうち、原油売上高は前年同期比6,970億円、112.2%増の1兆3,183億円、天然ガス売上高は前年同期比1,490億円、69.0%増の3,651億円です。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比15,773千バレル、18.1%増の102,921千バレルとなり、天然ガスは前年同期比16,605百万立方フィート、4.9%減の322,299百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比12,831百万立方フィート、4.7%減の260,035百万立方フィート、国内天然ガスは、前年同期比101百万立方メートル、5.7%減の1,668百万立方メートル、立方フィート換算では62,264百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり99.83米ドルとなり、前年同期比34.24米ドル、52.2%上昇、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり7.14米ドルとなり、前年同期比2.59米ドル、56.9%上昇、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり75円04銭となり、前年同期比32円48銭、76.3%上昇しております。売上高の平均為替レートは1米ドル128円33銭となり、前年同期比19円65銭、18.1%の円安となりました。

売上高の増加額8,495億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により965億円の増収、平均単価の上昇により5,116億円の増収、売上の平均為替レートが円安となったことにより2,378億円の増収、その他の売上高が34億円の増収となりました。

一方、売上原価は前年同期比2,958億円、76.7%増の6,813億円、探鉱費は前年同期比191億円、473.3%増の231億円、販売費及び一般管理費は前年同期比210億円、36.8%増の783億円です。以上の結果、営業利益は前年同期比5,135億円、127.6%増の9,158億円となりました。

営業外収益は持分法による投資利益の増加等により、前年同期比1,608億円、251.3%増の2,248億円、営業外費用は金融資産の条件変更から生じる損失の計上等により、前年同期比739億円、189.1%増の1,130億円となりました。この結果、経常利益は前年同期比6,003億円、140.5%増の1兆276億円となりました。

特別損失は、生産量見通しの下方修正等に伴い一部プロジェクトで減損損失を計上したことにより182億円となりました。法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は前年同期比4,513億円、150.7%増の7,508億円、非支配株主に帰属する四半期純損失は88億円です。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,297億円、94.2%増の2,674億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

油価・ガス価の上昇により、売上高は前年同期比531億円、59.0%増の1,432億円となりましたが、売上原価の増加により、前年同期の営業利益89億円に対し、当期は169億円の営業損失となりました。

② アジア・オセアニア

油価・ガス価の上昇により、売上高は前年同期比1,277億円、54.0%増の3,646億円となり、営業利益は前年同期比819億円、73.5%増の1,933億円となりました。

③ ユーラシア（欧州・NIS諸国）

販売数量の増加及び油価の上昇により、売上高は前年同期比1,606億円、193.8%増の2,435億円となり、営業利益は前年同期比1,177億円、593.0%増の1,375億円となりました。

④ 中東・アフリカ

販売数量の増加及び油価の上昇により、売上高は前年同期比4,979億円、118.2%増の9,192億円となり、営業利益は前年同期比3,319億円、125.0%増の5,976億円となりました。

⑤ 米州

油価の上昇により、売上高は前年同期比99億円、55.4%増の280億円となり、営業利益は前年同期比70億円、85.0%増の153億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6兆8,405億円となり、前連結会計年度末の5兆1,581億円と比較して1兆6,823億円の増加となりました。このうち、流動資産は8,348億円で、受取手形、売掛金及び契約資産の増加及び有価証券の計上等により前連結会計年度末と比較して3,160億円の増加となりました。固定資産は6兆56億円で、有形固定資産及び投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して1兆3,663億円の増加となりました。

一方、負債は2兆6,499億円となり、前連結会計年度末の1兆8,117億円と比較して8,382億円の増加となりました。このうち、流動負債は7,113億円で、前連結会計年度末比3,624億円の増加、固定負債は1兆9,386億円で、前連結会計年度末比4,757億円の増加となりました。

純資産は4兆1,905億円となり、前連結会計年度末比8,441億円の増加となりました。このうち、株主資本は2兆8,110億円で、前連結会計年度末比1,303億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は1兆1,368億円で、前連結会計年度末比6,933億円の増加、非支配株主持分は2,427億円で、前連結会計年度末比203億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

原油・ガス生産操業が概ね順調に推移し、2022年12月期通期連結業績予想は、2022年12月期第3四半期（累計）の実績の原油価格が上振れたこと、また、為替が円安方向に推移したことに加えて、原油価格及び為替の前提条件を見直したこと等を理由に修正を行いました。

通期連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	2,182,000	1,133,000	1,255,000	350,000
今回修正予想（B）	2,302,000	1,241,000	1,370,000	400,000
増減額（B－A）	120,000	108,000	115,000	50,000
増減率（%）	5.5	9.5	9.2	14.3

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期平均(実績)	104.9ドル/バレル	上期平均(実績)	104.9ドル/バレル
	下期平均(予想)	85.1ドル/バレル	下期平均(予想)	91.4ドル/バレル
	・第3四半期平均(予想)	95.1ドル/バレル	・第3四半期平均(実績)	97.7ドル/バレル
	・第4四半期平均(予想)	75.0ドル/バレル	・第4四半期平均(予想)	85.0ドル/バレル
	通期平均(予想)	95.0ドル/バレル	通期平均(予想)	98.1ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期平均(実績)	123.2円/ドル	上期平均(実績)	123.2円/ドル
	下期平均(予想)	126.9円/ドル	下期平均(予想)	139.1円/ドル
	通期平均(予想)	125.0円/ドル	通期平均(予想)	131.1円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	201,765	252,410
受取手形及び売掛金	168,224	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	246,889
有価証券	—	86,864
棚卸資産	47,817	62,764
その他	113,161	201,077
貸倒引当金	△12,104	△15,140
流動資産合計	518,864	834,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	163,165	157,702
坑井(純額)	345,946	427,573
機械装置及び運搬具(純額)	1,418,656	1,757,452
土地	18,666	18,004
建設仮勘定	292,836	351,692
その他(純額)	20,578	26,149
有形固定資産合計	2,259,849	2,738,575
無形固定資産		
のれん	29,550	42,767
その他	417,110	465,460
無形固定資産合計	446,660	508,227
投資その他の資産		
投資有価証券	403,356	781,781
長期貸付金	1,011,801	1,445,456
生産物回収勘定	548,170	530,542
その他	33,417	56,861
貸倒引当金	△652	△748
生産物回収勘定引当金	△61,871	△53,581
探鉱投資引当金	△1,400	△1,470
投資その他の資産合計	1,932,821	2,758,842
固定資産合計	4,639,332	6,005,645
資産合計	5,158,196	6,840,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,888	49,985
短期借入金	80,493	97,077
コマーシャル・ペーパー	—	92,000
未払法人税等	51,350	174,975
賞与引当金	1,386	—
役員賞与引当金	200	105
事業損失引当金	9,400	8,490
探鉱事業引当金	9,444	5,181
資産除去債務	672	3,101
その他	181,051	280,447
流動負債合計	348,888	711,363
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,069,721	1,320,597
株式給付引当金	100	221
特別修繕引当金	650	730
退職給付に係る負債	7,048	8,068
資産除去債務	258,339	383,483
その他	97,037	195,527
固定負債合計	1,462,897	1,938,628
負債合計	1,811,786	2,649,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	681,398	681,491
利益剰余金	1,783,841	1,895,596
自己株式	△75,425	△56,890
株主資本合計	2,680,624	2,811,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,640	5,903
繰延ヘッジ損益	△16,171	35,622
為替換算調整勘定	456,972	1,095,285
その他の包括利益累計額合計	443,441	1,136,811
非支配株主持分	222,344	242,700
純資産合計	3,346,409	4,190,518
負債純資産合計	5,158,196	6,840,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	849,214	1,698,743
売上原価	385,562	681,384
売上総利益	463,652	1,017,358
探鉱費	4,038	23,153
販売費及び一般管理費	57,237	78,312
営業利益	402,376	915,892
営業外収益		
受取利息	22,266	36,389
受取配当金	5,305	8,591
持分法による投資利益	2,863	119,798
生産物回収勘定引当金戻入益	7,230	7,688
為替差益	—	9,047
その他	26,333	43,305
営業外収益合計	63,998	224,819
営業外費用		
支払利息	10,359	19,525
為替差損	8,862	—
金融資産の条件変更から生じる損失	—	83,314
その他	19,883	10,210
営業外費用合計	39,105	113,049
経常利益	427,269	1,027,661
特別損失		
減損損失	—	18,274
特別損失合計	—	18,274
税金等調整前四半期純利益	427,269	1,009,387
法人税、住民税及び事業税	266,104	721,040
法人税等調整額	33,323	29,774
法人税等合計	299,428	750,815
四半期純利益	127,841	258,572
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,880	△8,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	137,722	267,429

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	127,841	258,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	530	3,316
繰延ヘッジ損益	△3,388	2,466
為替換算調整勘定	170,160	629,897
持分法適用会社に対する持分相当額	36,994	69,990
その他の包括利益合計	204,297	705,671
四半期包括利益	332,138	964,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,012	960,799
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,874	3,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

1. 交換取引

同様の性質及び価値を持つ石油製品等を同業他社間で融通する取引(交換取引)については、純額での計上に変更しております。

2. 軽油引取税

軽油引取税については、第三者のために回収する額に該当するため、取引価格から控除し収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が1,227百万円、売上原価が1,227百万円それぞれ減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高につきましても影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当社は、国内石油天然ガス生産施設及び天然ガス供給販売施設について、鉱山保安法が規定する採掘終了後の坑井掘採跡の鉱害防止義務並びに事業終了時の借地契約に伴う原状回復義務を有しております。

このうち、前連結会計年度まで一部の国内石油天然ガス生産施設は、LNG基地と相互補完的かつ有機的に関連しており、LNG導入量とのバランスを考慮した長期に亘る合理的な生産計画を策定することが困難であったこと、国内天然ガス供給販売施設については、公共性が高いエネルギーの供給インフラとして恒久的に使用する予定であったことから、撤去の時期等を予測することができませんでした。このため、前連結会計年度末までは資産除去債務を合理的に見積もることができず、資産除去債務を計上しておりませんでした。

第1 四半期連結会計期間において、従前、撤去の時期等を予測できないとして資産除去債務を計上していなかった国内石油天然ガス生産施設、及び生産施設と一体として機能している一部の国内天然ガス供給販売施設について、2022年2月における「長期戦略と中期経営計画（INPEX Vision @2022）」の策定及び公表を契機に生産及び開発計画を見直した結果、撤去の時期等を合理的に予測することができるようになったことから、新たに資産除去債務を12,149百万円計上しております。この見積りの変更により、当第3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,366百万円減少しております。

(追加情報)

(金融資産の条件変更から生じる損失)

在外子会社が適用する国際財務報告基準（IFRS）第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更から生じた損失であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシア (欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	90,141	236,837	82,888	421,312	18,034	849,214	—	849,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,203	—	—	—	6,203	△6,203	—
計	90,141	243,040	82,888	421,312	18,034	855,418	△6,203	849,214
セグメント利益又は損 失(△)	8,902	111,434	19,855	265,679	8,296	414,168	△11,792	402,376

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△11,792百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシア (欧州・ NIS諸国)	中東・ アフリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	143,291	364,625	243,567	919,235	28,024	1,698,743	—	1,698,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,062	—	—	—	10,062	△10,062	—
計	143,291	374,687	243,567	919,235	28,024	1,708,806	△10,062	1,698,743
セグメント利益又は損 失(△)	△16,982	193,345	137,591	597,649	15,348	926,952	△11,059	915,892

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△11,059百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失)

生産量見通しの下方修正等により、以下の通り減損損失を計上しました。

「米州」セグメント・・・イーグルフォードシェール18,274百万円

(のれんの金額の重要な変動)

「ユーラシア（欧州・NIS諸国）」セグメントにおいて、株式会社INPEXノルウェー及びINPEX Idemitsu Norge ASを新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては18,432百万円です。なお、当該のれんの増加額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」セグメントの売上高が1,227百万円減少しておりますが、セグメント利益又は損失に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
日本	原油	0.8百万バレル (日量2.9千バレル)	0.7百万バレル (日量2.7千バレル)
	天然ガス	30.2十億CF (日量110.8百万CF)	27.7十億CF (日量101.6百万CF)
	小計	6.5百万BOE (日量23.7千BOE)	5.8百万BOE (日量21.2千BOE)
	ヨード	411.5t	412.3t
	発電	164.9百万kWh	168.2百万kWh
アジア・オセアニア	原油	13.6百万バレル (日量49.8千バレル)	12.1百万バレル (日量44.2千バレル)
	天然ガス	285.4十億CF (日量1,045.4百万CF)	273.8十億CF (日量1,003.1百万CF)
	小計	68.8百万BOE (日量251.9千BOE)	64.8百万BOE (日量237.5千BOE)
	発電	293.8百万kWh	315.3百万kWh
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	13.5百万バレル (日量49.4千バレル)	17.4百万バレル (日量63.6千バレル)
	天然ガス	6.9十億CF (日量25.5百万CF)	13.4十億CF (日量49.2百万CF)
	小計	14.7百万BOE (日量54.0千BOE)	19.8百万BOE (日量72.4千BOE)
	発電	—	105.5百万kWh
	硫黄	71.4千t	53.4千t
中東・アフリカ	原油	59.8百万バレル (日量218.9千バレル)	73.8百万バレル (日量270.2千バレル)
米州	原油	2.2百万バレル (日量8.1千バレル)	2.3百万バレル (日量8.4千バレル)
	天然ガス	8.5十億CF (日量31.1百万CF)	2.6十億CF (日量9.5百万CF)
	小計	3.8百万BOE (日量14.1千BOE)	2.9百万BOE (日量10.5千BOE)
合計	原油	89.9百万バレル (日量329.3千バレル)	106.2百万バレル (日量389.1千バレル)
	天然ガス	331.1十億CF (日量1,212.7百万CF)	317.6十億CF (日量1,163.4百万CF)
	小計	153.6百万BOE (日量562.6千BOE)	167.0百万BOE (日量611.7千BOE)
	ヨード	411.5t	412.3t
	発電	458.7百万kWh	589.1百万kWh
	硫黄	71.4千t	53.4千t

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、1月1日から9月30日の実績となっております。

4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第3四半期

連結累計期間は原油97.6百万バレル(日量357.6千バレル)、天然ガス343.0十億CF(日量1,256.3百万CF)、合計163.4百万BOE(日量598.6千BOE)、当第3四半期連結累計期間は原油114.3百万バレル(日量418.6千バレル)、天然ガス325.2十億CF(日量1,191.2百万CF)、合計176.4百万BOE(日量646.1千BOE)となります。

- 5 BOE (Barrels of Oil Equivalent) 原油換算量
- 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
- 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

② 受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
日本	原油	3,205	4,551
	天然ガス (LPGを除く)	75,303	125,188
	LPG	13	5
	その他	11,621	13,545
	小計	90,143	143,291
アジア・オセアニア	原油	96,984	158,378
	天然ガス (LPGを除く)	134,066	203,386
	LPG	5,786	2,859
	小計	236,837	364,625
ユーラシア (欧州・NIS諸国)	原油	83,981	209,700
	天然ガス (LPGを除く)	△1,329	32,126
	その他	236	1,740
	小計	82,888	243,567
中東・アフリカ	原油	421,309	919,235
米州	原油	15,822	26,483
	天然ガス (LPGを除く)	2,212	1,540
	小計	18,034	28,024
合計	原油	621,303	1,318,349
	天然ガス (LPGを除く)	210,253	362,242
	LPG	5,799	2,865
	その他	11,858	15,286
	合計	849,214	1,698,743